

豊水っ子だより

笑顔! いい声! いい心! いっぱいの学校

第10号

令和2年1月27日
豊水小学校

あけましておめでとうございます! 今年もよろしくお願いします!



西暦2020年、令和2年、そして令和元年度の後期後半がスタートしました。今年は晴天に恵まれた暖かいお正月となりましたが、それぞれのご家庭ではどんなお正月を迎えられたでしょうか。

さて、新しい年への期待を胸に膨らませ、子どもたちが元気よく学校に戻ってきました。子どもたちにとって後期後半はそれぞれの学年のまとめであるとともに、次の学年、学校へとレベルアップを図る大切な三か月でもあります。「いく1月、にげる2月、さる3月」とも言われるように慌しい中であつという間に過ぎ去ってしまう三ヶ月間を、しっかりと目標を持って、充実した日々を過ごしていきたいと考えます。今年の干支である「ねずみ」の如く、子どもたち一人一人をチュー(注)意深く観察・支援し、素早い動きで何事にも迅速な対応ができるように職員全員で一致団結してまいりたいと思います。今年も、昨年同様、ご協力、ご支援よろしくお願いいたします。

★後期後半・・・3つの約束事をレベルアップします!!

冬休み明けの全校集会では後期後半に向け、後期前半同様3つの約束を子どもたちに提示しました。後期後半はそれぞれの約束事のレベルアップを図っていきます。

- 1 1回目にできる・・・気持ちの良いあいさつ、元気の良い返事
- 2 考えて行動する・・・廊下の歩き方、ゲームの時間やルール
- 3 豊水小の自慢は豊水っ子・・・思いやりの心、笑顔いっぱい

挨拶、返事については年度始めに比べると格段にレベルがアップしています。下校時には職員室に向かって子どもたちのすばらしく気持ちのよい挨拶が聞こえてきます。その声に私たちも元気をもらいます。子どもたちの気持ちのよい挨拶が、学校、そして地域に元気を与えてくれます。1回目に元気のよい挨拶ができる豊水小をめざしています。

★たこ、たこ、上がれ!・・・1年生生活科:たこづくり

年明けの朝の交通指導時に大浜駐在所駐在員の古川さんからこんな話をうかがいました。「年末年始にかけて豊水校区をパトロールしましたが、たこあげをしている子どもたちを1回見ただけで、外で遊ぶ子どもたちはほとんど見かけませんでした。正月三ヶ日も天気は良かったんですが、家の中でゲームで遊んでいる子どもたちがほとんどなんでしょうね・・・!」たこあげ、こままわしといった私たちの世代が興じたお正月の定番の遊びも、今ではほとんど見られなくなりました。そんな中、1年生は生活科の授業で凧づくりを行い、先日凧あげに挑戦しました。凧を上げようと全速力で運動場を駆け回る必死な1年生3人の姿に、とても癒やされた時間でした。子どもたちの思いを込めた凧が大空いっぱいに気持ちよく舞い上がっていました。



給食に感謝しよう! 給食ありがとう集会!!

明治22年、山形県鶴岡町忠愛小学校で昼食(おにぎり、焼き魚、漬物)を出したのが、学校給食の始まりと言われています。それから戦後まもない昭和22年1月、脱脂粉乳で再開された学校給食。これにちなみ、1月のこの時期を給食週間と定め、給食の意義や給食に携わる多くの人々の努力と協力を理解する機会にしています。本校でも給食記念週間を定め、保健給食委員会を中心にさまざまな取り組みが行われました。1月17日(金)、「食の大切さを知り、食についての理解を深め、給食センターの方々をはじめ、食に携わるさまざまな方々への感謝の気持ちをもち」ことなどを目的に「給食ありがとう集会」を行いました。まず、保健給食委員会の子どもたちからは給食の歴史についてプレゼンソフトを使った発表がありました。委員会の子どもたちも自分の役割をしっかりと果たしながら、協力して発表する姿が見られました。その後、玉名市中央学校給食センターの栄養教諭である松井典子先生にお話をいただき、日本の食料自給率について考え、また給食や食の大切さ、食べ物のありがたさなどについて理解することができました。「残滓量世界一位」「飽食の時代」と言われる我が国において、子どもたちが「食のありがたさ」を感じ、食に携わる方々への「感謝の気持ち」を持たせていくことは、これからの私たちの大切な責務であると考えます。毎日何気なく使っている「いただきます」という言葉の意味を常に子どもたちに投げかけていければと思います。



★研究授業で教師の力量・スキルアップを・・・!

先日、たんぽぽ2組学級で研究授業が行われ、県立荒尾支援学校の特別支援教育コーディネーター、小田浩三先生を講師としてお招きし、国語指導及び特別支援教育について学びを深めました。本校では年間を通して全ての担任及び専科による研究授業及び授業研究会を行ってきました。授業の内容は本校で特に力を入れている国語科指導をはじめ、道徳、特別支援教育、外国語の指導などが中心で、研究授業及び授業研究会、講師による講話等を通して、教職員それぞれの指導力向上、スキルアップを図っています。令和2年度から小学校では新学習指導要領全面実施に伴い教育課程も大きく変わります。さらに日々変化する社会の情勢に対し、子どもたちにどのような「生きる力」を身につけさせていくのかなど教育的課題も多く、そのような状況の中で教職員としての力量を日々保持増進していくことは必要不可欠なことです。単なる知識の詰め込みだけではこれからの社会を生き抜く力は身につかず、「主体的、対話的で深い学び」そして「子どもたちから引き出す授業づくり」を常に心がけて日々の授業に取り組んでいます。



